



平成25年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月8日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社サーラコーポレーション

コード番号 2734 URL <http://www.sala.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 神野吾郎

問合せ先責任者 (役職名) 総務部総務グループマネージャー

(氏名) 武川裕樹

TEL 0532-51-1182

四半期報告書提出予定日 平成25年10月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年11月期第3四半期の連結業績(平成24年12月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第3四半期	101,077	△1.2	1,102	△33.0	1,410	△25.4	824	△5.6
24年11月期第3四半期	102,285	3.9	1,645	105.5	1,891	125.6	873	25.3

(注) 包括利益 25年11月期第3四半期 1,275百万円 (38.0%) 24年11月期第3四半期 924百万円 (28.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第3四半期	21.44	—
24年11月期第3四半期	22.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年11月期第3四半期	96,841	28,038	27.9
24年11月期	96,929	27,192	26.9

(参考) 自己資本 25年11月期第3四半期 27,002百万円 24年11月期 26,106百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期	—	5.00	—	6.00	11.00
25年11月期	—	5.00	—		
25年11月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年11月期の連結業績予想(平成24年12月1日～平成25年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	139,000	1.2	1,950	15.9	2,200	10.6	1,250	27.1	32.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区分することが困難な場合」に該当します。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年11月期3Q	40,338,708 株	24年11月期	40,338,708 株
② 期末自己株式数	25年11月期3Q	1,894,191 株	24年11月期	1,893,533 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年11月期3Q	38,444,886 株	24年11月期3Q	38,447,551 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中でありませ

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による質的・量的金融緩和等を背景にした円安・株高の進行を受けて、企業収益の改善や個人消費の持ち直しを通じた景気回復が実体経済にも徐々に波及してまいりました。一方、中国経済の鈍化や米国金融政策等の下振れリスク懸念等もあり、景気の先行きは依然不透明な状況にあります。

当社グループを取り巻く環境につきましては、円安の影響によりLPガスの原料価格が高めに推移したこと、第2四半期以降気温が高かったこと、輸入車市場が好調であったことなどが事業活動に影響を及ぼしました。

このような状況のなか、当社グループは第4次中期経営計画（平成23年11月期～平成25年11月期）の完遂に向け、既存事業のさらなる強化と新分野・成長分野への取組みを強力に推進しております。

エネルギーサプライ&ソリューション事業においては、お客さまとの接点の一層の強化を図るため、ガステックサービス株式会社の御殿場・安城の各営業所を改装のうえ、ショールーム機能等を付加した「サーラプラザ」を開設いたしました。また、各地の「サーラプラザ」を有効活用し、各種イベントやセミナーを開催して、サーラグループが成長分野として注力しているリフォーム事業の伸長に努めました。さらに、中部ガス株式会社との共同化事業の一環として「サーラガス蒲郡」を始動させ、トータルな生活提案を通じてお客さまにサーラグループを選択していただく機会を創出し、地域でのエネルギーシェアアップを図ります。

カーライフサポート事業のサーラカーズジャパン株式会社では、革新的でスマートなブランドイメージの訴求による集客力の向上を図るため、8月にフォルクスワーゲン豊橋をリニューアルオープンしました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は前年同期比1.2%減の101,077百万円となり、売上原価は前年同期比0.6%減の79,078百万円、販売費及び一般管理費は前年同期比1.0%減の20,896百万円となりましたことから、営業利益は前年同期比33.0%減の1,102百万円、経常利益は前年同期比25.4%減の1,410百万円となりました。特別利益は105百万円、特別損失は81百万円となり、法人税等費用は前年同期比33.8%減の656百万円となりましたので、四半期純利益は前年同期比5.6%減の824百万円となりました。

セグメント別の概況は次のとおりです。

エネルギーサプライ&ソリューション事業

売上高48,910百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益1,520百万円（前年同期比21.8%減）

主力のLPガス販売では、家庭用につきましては気温が高めに推移したこと、工業用につきましては稼働率が前期に比べて低調であったことなどにより全体の販売量は減少し、売上高は前年同期並みとなりました。利益面では、円安に起因する原料価格の高騰などにより営業利益は減少しました。なお、リフォーム事業については、太陽光発電等の新エネルギー商材を中心に売上高が伸長しました。

エンジニアリング&メンテナンス事業

売上高21,036百万円（前年同期比4.4%減）、営業損失146百万円（前年同期は営業損失18百万円）

設備部門では、前期までの企業の設備投資への慎重な姿勢を背景とした受注物件不足が影響したこと、また、土木・建築部門においては、当第4四半期末に完工が集中したことにより全体の売上高、営業利益とも減少しました。なお、グループ連携の強化により産業用ソーラーの施工は大幅に増加しました。

カーライフサポート事業

売上高11,093百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益563百万円（前年同期比23.5%増）

輸入車販売部門では、既存オーナーに対するフォローの徹底や新規顧客の開拓に努め、フォルクスワーゲンを中心に販売台数は大幅に増加しました。また、車検・点検のアフターセールスの注力も寄与し、売上高、営業利益とも順調に増加しました。

アニマルヘルスケア事業

売上高14,953百万円（前年同期比5.2%減）、営業利益27百万円（前年同期比13.0%減）

動物用医薬品やワクチンの販売は提案型営業の徹底によりほぼ横ばいとなりましたが、療法食販売の大手得意先への販売減などにより、売上高、営業利益とも減少しました。

ホスピタリティ事業

売上高1,722百万円（前年同期比2.6%増）、営業損失307百万円（前年同期は営業損失344百万円）

ホテルアークリッシュ豊橋では、お客さまニーズに応えた魅力的なプランの展開により宴会組数が増加し、ブライダルの組当たり単価は上昇しました。宿泊部門では、ホテルアークリッシュ豊橋・ホテルday by dayともに客室稼働率が上昇しました。これらにより全体の売上高は増加し、営業損失は縮小しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

(資産)

資産は96,841百万円と、前連結会計年度末と比較して88百万円減少しました。これは主に、「受取手形及び売掛金」が3,014百万円減少したこと、「有形固定資産」が減価償却などにより650百万円減少したこと、「無形固定資産」が減価償却などにより483百万円減少したことに対し、「仕掛品」が2,291百万円増加したこと、「投資有価証券」が787百万円増加したこと、「現金及び預金」が692百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債は68,802百万円と、前連結会計年度末と比較して934百万円減少しました。これは主に、「支払手形及び買掛金」が1,431百万円減少したこと、「1年内返済予定の長期借入金」が1,183百万円減少したことに対し、「短期借入金」が1,150百万円増加したこと、「流動負債のその他」が357百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は28,038百万円と、前連結会計年度末と比較して846百万円増加しました。これは主に、「利益剰余金」が、四半期純利益の計上により824百万円増加し、配当の実施により424百万円減少したこと、「その他有価証券評価差額金」が496百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年11月期連結通期の業績予想につきましては、平成25年1月11日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年12月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,933	8,625
受取手形及び売掛金	20,168	17,153
商品及び製品	4,152	4,323
仕掛品	2,716	5,007
原材料及び貯蔵品	190	207
繰延税金資産	833	881
その他	3,198	3,962
貸倒引当金	△271	△251
流動資産合計	38,921	39,911
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,552	16,911
機械装置及び運搬具（純額）	2,058	2,009
導管（純額）	1,950	1,821
土地	22,447	22,794
建設仮勘定	9	30
その他（純額）	2,973	2,772
有形固定資産合計	46,991	46,341
無形固定資産		
のれん	390	263
その他	1,910	1,554
無形固定資産合計	2,300	1,817
投資その他の資産		
投資有価証券	3,756	4,544
長期貸付金	509	477
繰延税金資産	2,273	2,098
その他	2,543	2,032
貸倒引当金	△366	△380
投資その他の資産合計	8,716	8,771
固定資産合計	58,008	56,930
資産合計	96,929	96,841

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,822	15,391
短期借入金	14,120	15,270
1年内返済予定の長期借入金	6,430	5,247
未払法人税等	427	264
賞与引当金	1,372	1,643
役員賞与引当金	9	4
完成工事補償引当金	16	13
工事損失引当金	112	134
ポイント引当金	106	109
その他	7,425	7,782
流動負債合計	46,843	45,861
固定負債		
長期借入金	12,546	12,569
繰延税金負債	137	142
退職給付引当金	6,285	6,427
役員退職慰労引当金	519	532
修繕引当金	29	32
その他	3,375	3,236
固定負債合計	22,893	22,940
負債合計	69,737	68,802
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,025	8,025
資本剰余金	9,019	9,019
利益剰余金	9,826	10,226
自己株式	△953	△953
株主資本合計	25,917	26,317
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	188	685
その他の包括利益累計額合計	188	685
少数株主持分	1,086	1,036
純資産合計	27,192	28,038
負債純資産合計	96,929	96,841

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)
売上高	102,285	101,077
売上原価	79,525	79,078
売上総利益	22,760	21,998
販売費及び一般管理費	21,114	20,896
営業利益	1,645	1,102
営業外収益		
受取利息	13	14
受取配当金	30	42
負ののれん償却額	1	0
持分法による投資利益	176	158
その他	340	343
営業外収益合計	562	560
営業外費用		
支払利息	293	230
その他	22	21
営業外費用合計	316	252
経常利益	1,891	1,410
特別利益		
固定資産売却益	65	92
投資有価証券売却益	0	12
負ののれん発生益	40	—
特別利益合計	105	105
特別損失		
固定資産除売却損	59	81
投資有価証券評価損	3	—
減損損失	37	—
特別損失合計	100	81
税金等調整前四半期純利益	1,896	1,433
法人税、住民税及び事業税	828	694
法人税等調整額	163	△37
法人税等合計	992	656
少数株主損益調整前四半期純利益	904	776
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	30	△47
四半期純利益	873	824

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	904	776
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19	496
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	2
その他の包括利益合計	19	498
四半期包括利益	924	1,275
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	892	1,320
少数株主に係る四半期包括利益	31	△45

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年12月1日 至 平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	エネルギー サプライ& ソリューション 事業	エンジニア リング&メ ンテナンス 事業	カーライフ サポート事 業	アニマルヘ ルスケア事 業	ホスピタリ ティ事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	48,862	21,993	10,355	15,769	1,678	98,659	3,626	102,285	—	102,285
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,191	970	82	3	20	2,270	713	2,983	△2,983	—
計	50,054	22,964	10,438	15,773	1,699	100,929	4,339	105,269	△2,983	102,285
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	1,943	△18	456	31	△344	2,069	107	2,176	△531	1,645

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車部品製造、割賦販売及びリース等を含んでおります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△531百万円には、セグメント間取引消去145百万円、全社費用△676百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「エネルギーサプライ&ソリューション」セグメントにおいて、今後利用計画のない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として、特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては37百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「エネルギーサプライ&ソリューション」セグメントにおいて、40百万円の負ののれん発生益を計上しております。これは、連結子会社である㈱日興の株式を追加取得したことによるものです。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	エネルギー サプライ& ソリューション事業	エンジニア リング&メ ンテナンス 事業	カーライフ サポート事 業	アニマルヘ ルスケア事 業	ホスピタリ ティ事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	48,910	21,036	11,093	14,953	1,722	97,716	3,360	101,077	—	101,077
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,086	896	67	0	17	2,068	624	2,692	△2,692	—
計	49,997	21,932	11,160	14,953	1,740	99,784	3,985	103,769	△2,692	101,077
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	1,520	△146	563	27	△307	1,658	△17	1,641	△538	1,102

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車部品製造、割賦販売及びリース等を含んでおります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△538百万円には、セグメント間取引消去124百万円、全社費用△663百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年12月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更によるセグメント損益に与える影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。